

A-Partners

あだち区のNPO情報紙

知る 伝える つながる

第7号

編集・発行 平成25年5月22日 足立区NPO活動支援センター
〒123-0851 足立区梅田7-13-1 (梅田図書館1階) TEL.03-3840-2331 Email npo-sc@adachi.ne.jp 担当所管: 足立区 区民参画推進課区民参画支援係 TEL.03-3880-5020



心に響く想いを伝える...

今号は音楽を通して活動しているNPOを特集しています。

音楽が持つ可能性には計り知れないものがあります。音楽を演奏する側とそれを受け取る側には、一方通行ではないコミュニケーションが生まれています。今回取材した2つのNPOでは、はからずも、この目に見えないコミュニケーションの波紋が音楽を通して広がっていく様子がよくわかります。

またそれは、演奏者たちを支える多くの人々の想いでもあります。心に響き合う音楽の波紋がもっと広がりますように。

わくわく INFORMATION 春

イベント掲示板

足立区

詳細は、各団体にお問い合わせ下さい。

魂が号泣する感動の104分 「ドキュメンタリー映画 『うまれる』上映会」

映画を通して家族の絆・人と人とのつながりを考える。監督との対談企画もあります。

【日時】5月25日(土)
開場9時30分～ 開演9時50分～
【場所】西新井文化ホール
(足立区栗原1-3-1)
【料金】前売900円 当日999円
【開】平日12時～18時
090-1259-3930(岡井)
平日11時～17時
03-6694-1401(石原)
【主催】和シネマ
http://kazucinemawebfc2.com/



ボランティア募集

「本木ワンドの環境整備」

私たちは、自然環境との調和・共生を図った水辺空間の本木ワンドを、人々の憩いの水辺として、また環境学習の場として、ボランティアで環境整備をしています。お気軽にご参加ください。



【日時】毎月第2土曜日10時～12時(雨天中止)
【場所】西新井橋上流左岸、本木ワンド看板前
【内容】本木ワンド(河川敷)のゴミ清掃、草刈、植物調査など、自然環境の整備。必要な用具は団体に用意。
※汚れても良い服装でご参加ください
【申込・問】kkaneko1943@gmail.com
090-4394-8764
【主催】足立区本木・水辺の会

5分の会話で良いと探し♪ 「コミュニケーション 能力向上ワークショップ」

発達障がいについての理解を深め、コミュニケーションを楽しんでみませんか? 5分間の会話から良い所を褒める(批判&助言禁止)これを皆で回して行く簡単なワークショップです。ご家族&支援者の参加大歓迎です。

【日時】6月4日(火)
開始13時～16時 ※開場12時45分
【場所】足立区NPO活動支援センター
(足立区梅田7-13-1)
【料金】500円(資料代)
【定員】16名
http://kokucheese.com/event/index/87175/
【開】080-5008-2133(町田)
【主催】A-Step
【運営】Communication Community イトコサガシ



6月開講予定 「シルバーのチアー・バトン サークル 会員募集」

秋に区役所で開かれる「NPOフェスティバル」で「ボンボン」と「バトン」を踊りませんか? 音楽に合わせて身体を動かすことも身体もスリリします!

【日時】毎月2回 木曜日
10時～11時15分(仮予定)
【場所】足立区NPO活動支援センター
(足立区梅田7-13-1)
【料金】入会金1000円、月会費1000円、積立金500円
【講師】足立区公認スポーツ指導員・NPO法人バトントワリング協会理事長 野口智子
【申込・問】03-3889-8552(Tel/Fax)野口
※対応時間9時～11時
【主催】NPO法人日本バトントワリング協会
http://www.npo-nba.com/



区民公募の舞台創造企画

「歓喜の演Vol.12 公演情報」

昨年4月より第12回公演の練習を続けてきました。狂言と合唱に寄せる熱い思いを是非ご覧ください。

●狂言～遊びをせんとやPART6～
【日時】8月31日(土)14時開演
【場所】西新井文化ホール
【内容】古典と創作狂言
【指導・演出】山下光治 山下芳子
【出演】狂言まいい倶楽部
●合唱～オペレッタ ころもり～
【日時】9月21日(土)14時開演
【場所】西新井文化ホール
【内容】プロオーケストラとの共演
【指導】近藤直子
【出演】歓喜の演合唱団
【問】03-3897-3090(Tel/Fax)山下
※料金等詳細はお問合せください。
【主催】歓喜の演実行委員会



あだちNPOカレッジ

「コミュニティビジネス講座 受講生募集」

地域の課題を事業として解決するコミュニティビジネス(CB)について学び、事業計画を作る講座。

●CB入門編
【日時】6月15日(土)10時～12時
【内容】地域の課題を解決する事業であるCBについて、事例を交えながら解説。
●CBステップアップ編
【日時】6月22日、29日、7月6日(全て土曜)10時～12時
【内容】講義とワークショップでCBを実践するための事業計画を作成
【場所】足立区NPO活動支援センター(足立区梅田7-13-1)
【料金】無料
【申込】電話・FAX・申込フォームで、住所・氏名・電話番号・アクセス番号・Eメール・「CB講座」を連絡
Tel:03-3840-2331 Fax:03-3840-2333
申込フォーム: http://pt/ea-T
【主催】足立区NPO活動支援センター

A-Partnersの設置場所

■主な設置場所

足立区内の図書館、住区センター、地域学習センター、生涯学習センターなどの各種行政施設に設置しています。

■設置協力店

●アリオ西新井(西新井栄町)
●アロマサロン Regalo(千住仲町)
●イトーヨーカドー竹の塚店(竹の塚5丁目)
●ASP-スポーツジム(中央本町2丁目)
●カラオケルーム花絵(千住旭町)
●家庭料理の店 夢(西綾瀬2丁目)
●ザ・ブライズ千住店(千住3丁目)
●ザ・ブライズ西新井店(興野1丁目)
●サミット保木間店(保木間1丁目)
●サミット五反野店(中央本町2丁目)
●上海亭(足立4丁目)
●喫茶マロニエ(西綾瀬2丁目)
●喫茶ふるもと(梅島1丁目)
●ヘアーサロン・チャタニ(東和2丁目)
●まごころ居酒屋 Tampopo(千住東1丁目)
●山形食彩 味香和(竹の塚1丁目)
●和だいにんぐ ぶーの(中央本町2丁目)

■区民レポーター募集のお知らせ

NPO情報紙A-Partnersは、たくさんの区民ボランティアによって作成されています。区内のNPO団体などを訪問取材し、原稿の作成と写真撮影などをします。一緒に活動してみたい方、関心のある方は当センターにお問い合わせください。

【対象】足立区在住、メールアドレスのある方、月2回程度の打ち合わせに出席できる方

【申込】作文「足立区の魅力について」400文字をメールにてお送りください。
npo-sc@adachi.ne.jp 担当:足立区NPO活動支援センター 黒川

■配布場所を募集しています!

A-Partnersを店舗や施設に置いてみませんか? 本紙・送料とも無料にてお送りいたします。詳しくは、足立区NPO活動支援センター(電話03-3840-2331)までお問い合わせください。



A-Partnersは区民が発信している情報紙です。

編集部: 篠崎 廣志、白男川 和典、菅井 智子、
関 房江、高橋 民夫、田代 三紀子、金井 孝介、西水 晃

感想をお寄せください♡ 区民レポーターも募集中です

〒123-0851 足立区梅田7-13-1(梅田図書館1階)
足立区NPO活動支援センター
Tel: 03-3840-2331
Eメール: npo-sc@adachi.ne.jp

ムジカ・フレスカ

演奏者を
援助し
生の声を
身近なものに



■お問い合わせ先
NPO法人 ムジカ・フレスカ
足立区中央本町1-22-8
Eメール: y.seki@musicafresca.jp
HP: <http://www.musicafresca.jp/>

事務局長
関 康雄さん

(あんば)克則さんによれば、これは演奏者にとっても「聴き手と対話している感じ」で刺激的なのだそう。また「子どもの反応は直接的で正直」つまりなければ表情に表れ、良ければ目が輝くので、学ぶことが多いようだ。



安保さんは由緒ある日本音楽コンクールの音楽部門で3位に入賞した流の音楽家である。それでもプロの演奏家として活動を続けるのは並大抵のことではない。子どもの時からのためめ努力に加え大学や大学院の教育を受け、留学までもして、活動を続けることが難しい演奏家も多いそうだ。他の先進国やアジア諸国に比べて、芸術家への支援基金が少ない日本では特に厳しい。このような音楽家を援助し音楽文化の発展を願うムジカ・フレスカの活動は日本では本場に貴重な存在だ。同会では役員に各界のそうそうたるメンバーが名を連ねて、個人会員および法人賛助会員の協力のもと、音楽家を支援している。彼らの想いが多くの人に伝わりましますように。(関房江)

今年にかけてわたなべ音楽堂(中央本町4)での「クリスマス・コンサート」、NPOフエスティバル、そして舎人第一小花畑中、第十三中への出張コンサートなどが行われた。学校への出張コンサートは、学校の音楽室という狭い空間で、舞台衣装を身につけたオペラ歌手が子どもたちに触れる位の距離で演奏する。音楽を身近で生で聴くことへの子どもたちの反応は「鳥肌がたつた」「圧倒された」「生のオペラは初めて感動した」など、そのインパクトは強烈だったようだ。演奏者の一人、テノールの安保

OTONOHAはハンドイのある中高生を対象としたミュージックベルサークルの運営を行っています。2010年9月に設立され、通常の学校・社会生活でハンディキャップがある学生の仲間作りの場として、またときに演奏へ出かけることで地域や周りの人とながって生活を楽しくすることを目的としています。

ークルで長く活躍された大司宣子さんを招き、愛情いっぱい熱心な指導を受けています。生徒の演奏も真剣そのもの、優れたものでした。

ミュージックベルとは、ハンドベルよりも小さく安価なものを表すそうです。昨年からはトーンチャイムというパイプ型の楽器を加え、アンサンブルの演奏にもトライしているとのこと。先日の練習会では、「さくら・さくら」や「きらきら星変奏曲」を皆さん意気揚々と明るく楽しく演奏されていました。私もその音色に魅了され一緒に演奏させて頂きました。音痴な私ですが、気軽に演奏すること

ができました。その点も良いですね。メンバーの一人であるまどかちゃん、ベルを鳴らしている心が落ち着きます。夢はデイズ・フランドで演奏することなの。そして、たくさんの人にこの音を届けたい」とのこと。

ミュージックベルはその曲によって、和の味わいやすクリスマスの雰囲気など、いろいろな表情をつくることができます。そして、デイズ・フランドで一生懸命演奏した時に、楽しんで下さっている会場の方々の表情を感じ、万通行ではないその場所の空気が共有できることが魅力で、そ

れが力になるとのこと。代表の日笠よう子さんは、「子どもだけで通える、友達の繋がりを持てる場所を提供したかった。今後はジャンルを問わず、レパートリーを増やし、メンバーも増やしたい。そして、多くの方に楽しんでいただけるようにしたい」と仰っていました。

ハンディの有無に関わらず、音楽が大好きな方であれば、どなたでも参加できます。体験レッスン(1回1000円)および演奏訪問も歓迎です。お気軽にお問い合わせ下さい。(白男川和典 篠崎廣志)

現在は、区内の中学校を卒業した生徒を中心として計9名で活動中。足立区の中央本町地域学習センター音楽室で月2回の練習会を行い、デイサービスや学校などの施設を訪問して年5回ほど発表会を開催しています。講師には現役ピアニストで港区のミュージックベルサ

ミューズックベルが奏でる癒しの音色で素敵な週末を!



■お問い合わせ先
OTONOHA (オトノハ)
Tel: 080-3715-0612
Eメール: higasa@minos.ocn.ne.jp
ブログ: <http://ameblo.jp/belltomo0612/>
HP: 「OTONOHA 足立区」で検索



代表
日笠よう子さん



NPO法人 ソーシャルデベロップメントジャパン 療育室つばさ

■お問い合わせ先
足立区新田3-23-6
Tel: 03-3927-5255 Fax: 03-3927-5255
Eメール: info@sdj283.com
HP: <http://sdj283.com/>
室長: 矢部 弘司



足立区新田にある療育室つばさの朝は、利用者へのお迎えから始まる。未就学の重症心身障がい児が通うこの施設の定員は1日5名。利用者は区内だけではなく、近隣の区を含め広域にわたる。現在23区内で重症心身障がい児が通う施設は約10カ所あるが、民間が単独で運営するのはつばさが初だ。

室長の矢部弘司さんは福祉施設で働いていた7年前、ある重症心身障がい児に出会った。知的障がいを持つ子どもが通う施設は数多くあるものの、重度の身体障がいや併せ持つ子どもを受け入れる施設はなかなか見つからなかった。それでもやっと見つかった民間の保育園。当時は特例中の特例だった。

車椅子を押したりオムツの取り替えを手伝ったり、周りの子どもたちは積極的に手を差し伸べてくれた。そして二日の終わりにはその二つを、園までお迎えに立ち会う矢部さんに嬉しそうに報告するのだという。そんな子ども達に刺激されたのか、その子はいつしかつかまり立ちで歩くようになり、食事も自分の手で口に運べるようになった。この大きな経験がきっかけとなり、2012年7月、矢部さんはつばさを開設させた。

つばさでは、障がいのある子どもと子どもが一緒に活動を行う統合保育を取り入れるとともに、地域住民との関わりも大切にしたいと、散歩など外での活動を日課にする。「普通の生活の中で障がい児を当たり前に受け入れてもらいたいんですよね」と、一軒家をそのまま利用した施設は矢部さんのこだわりでもある。



親御さんには少しの時間でも休んでもらい自分の時間を持つて欲しい、という思いから、付き添いは不要。毎日5名の専門スタッフで対応する。利用時間は火・土曜日の9時から16時。現在登録者は18名。(菅井智子)